

令和6年度学校行事（案）※予定は、変更されることがあります。今後は、最新の予定を御確認ください。

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
4	5	金	第1学期始業式	9	14	土	西関東吹奏楽コンクール
	8	月	入学式		17	火	英単語テスト②
	10	水	新入生歓迎会		24	火	衣替え移行期間⑦（～10/11）
	11	木	標準学力検査（～4/12）、1年生知能検査、部活動見学（～4/14）		25	水	オープンスクール⑦、県央地区新人大会激励会
	15	月	部活動体験・仮入部（～4/19）		27	金	体育祭
	16	火	3年生全国学力・学習状況調査		30	月	体育祭予備日
	19	金	オープンスクール① P T A総会		2	水	長岡・県央地区新人陸上大会、中越地区合同新人柔道大会
	26	金	避難訓練①、部活動集会	10	3	木	漢字テスト③
5	30	火	漢字テスト①		7	月	後期時間割開始
	9	木	計算テスト①		8	火	県央地区新人大会
	10	金	2年生フラワーロードづくり		9	水	秋の街頭指導（～10/11）、県央地区新人大会予備日
	13	月	生徒総会①、緑の募金（校内）		11	金	避難訓練②
	15	水	オープンスクール②、全校道德		15	火	1年生職場見学、2年生職場見学（～10/16）、3年生上級学校訪問
	16	木	家庭学習強調旬間①（～5/30）、地域貢献活動		21	月	My 健②（～10/25）
	17	金	地域貢献活動予備日		26	土	合唱コンクール
	20	月	春の街頭指導（～5/22）、衣替え移行期間①（～5/31）	11	28	月	振替休業日、家庭学習強調旬間③（～11/11）
6	29	水	オープンスクール③、中越地区大会激励会		8	金	オープンスクール⑧、絆スクール集会
	30	木	定期テスト①（～5/31）		11	月	第3回定期テスト（～11/12）
	5	水	オープンスクール④、いじめ見逃しゼロスクール集会		17	日	見附子育て教育の日、オープンスクール⑨、人権教育、同和教育公開授業②
	6	木	英単語テスト①		18	月	振替休業日
	7	金	中越地区大会（女子バレーボール）		21	木	計算テスト②
	8	土	中越地区大会（ソフトテニス、野球）		29	金	生徒会立会演説会、投票、開票
	10	月	My 健①（～6/14）		2	月	スクールバス運行（～3/24）、学校評価②
	11	火	中越地区大会（女子バレーボール、バスケットボール、野球）	12	6	金	生徒総会②
7	12	水	中越地区大会（バスケットボール、野球、ソフトテニス）		7	土	アンサンブルコンテスト（～12/8）、スクールアート展（～12/9）
	13	木	中越地区大会（ソフトテニス）		9	月	英単語テスト③
	15	土	中越地区大会（陸上競技）（～6/16）		10	火	期末保護者会②（～12/13）
	18	火	中越地区大会（卓球、柔道、バドミントン）（～6/19）		22	日	県吹奏楽アンサンブルコンテスト
	19	水	中越地区大会（女子バレーボール、バスケットボール、野球）		24	火	第2学期終業式
	22	土	中越地区大会（女子バレーボール、卓球）		8	水	第3学期始業式
	23	日	市防災訓練	1	16	木	漢字テスト④
	26	水	オープンスクール⑤、人権教育、同和教育公開授業①、中越地区大会報告会		17	金	入学説明会
8	29	土	P T Aクリーン作戦		20	月	My 健③（～1/24）、家庭学習強調旬間③（～2/3）
	2	火	漢字テスト②、学校評価①		21	火	計算テスト③
	5	金	クラスマッチ		22	水	3年生進路面談（～1/24）
	7	日	通信陸上競技大会（～7/8）	2	3	月	定期テスト④（～2/4）
	10	水	オープンスクール⑥、県大会、中越地区吹奏楽コンクール激励会		19	水	2年生修学旅行（～2/21）
	13	土	県総合体育大会（～7/15）		26	水	3年生同窓会入会式
	20	土	県総合体育大会（陸上競技）、中越地区吹奏楽コンクール（～7/21）		3	月	第46回卒業証書授与式
	24	水	第1学期終業式	3	5	水	公立高校一般選抜学力検査
9	25	木	期末保護者会①（～7/30）		6	木	公立高校一般選抜学校独自検査
	10	土	県吹奏楽コンクール		10	月	公立高校一般選抜学力検査、学校独自追検査（～3/11）
	19	月	家庭学習強調旬間②（～9/2）		13	木	公立高校合格発表
9	23	金	第2学期始業式		21	金	第3学期終業式
	2	月	第2回定期テスト（～9/3）				

見附市立南中学校学校だより 3月号

南中だより

令和6年3月1日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 F A X 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

大人になるための努力を⑩

「自主 協和 錬磨」

校長 有本 千晴

今年度は、5月に新型コロナウイルスの感染症の法律上の位置付けが変わり、制限のない学校生活ができるようになりました。できるだけ通常教育活動を実施することに努めた1年間でした。私は、「以前に戻す」という考えを止めて、新しく南中学校をつくろうという気持ちで、教育活動を進めました。

表題の「自主 協和 錬磨」は、創立以来の変わらぬ本校の教育目標です。このことが体现された場面が、とても多くあった1年間だったと思います。

1つめの「自主」は、制限がなくなったことを契機に、4月までとは異なる生活様式を身に付ける日々において現れました。生徒も教職員も、感染症の拡大防止や気候の変化への対応を常に考えながら、コロナ禍の感覚で過ごす必要がない場面で、自分はどうしなければならないかを考え、適切な言動をすることを心がけようと努力しました。

2つめの「協和」は、生徒一人一人が「仲良くしよう」「思いやりをもって接しよう」「楽しく過ごそう」という気持ちをもって、学校行事や生徒会活動、部活動などの異学年集団での活動に取り組みました。本校は、年3回の定期教育相談と、毎月のいじめアンケートや生活ノート、生徒の言動の見守りなどで気になることがあるときに日常的に実施するチャンス相談を行い、生徒の悩みや困り感の解消に努めています。相談の中には、成長とともに多感になり、以前とは違う考えや気持ちをもつようになった自分自身に戸惑ったり、人間関係づくりに悩んだりすることを打ち明けてくれた生徒もいました。生徒が、納得したり最善だと思えたりする気持ちに少しでも近付けるよう、解決に努めました。

3つめの「錬磨」は、「学力向上」と「体力強化」です。特に、「学力向上」は本校の最重要課題のひとつです。学習では、授業時数を確保し、全学年で履修を全て終わらせることができる見通しです。授業で学んだことを定着させるには、時間がかかります。年度の後半から、家庭学習に力を入れて、週末課題や強調旬間の学習時間と定期テストの点数、メディアの利用時間のクロス集計など、現状の改善に取り組みました。生徒にも自らを律し、厳しく時間を見積もって学習に取り組むよう支援や助言に努めました。

私は、本校の教育目標は、とても素晴らしい言葉だと、ずっと思ってきました。生徒が大人になっても、この3つのことができれば、夢や目標を実現できるでしょう。「あなたがいてよかった」と言われる豊かな人生を送り、社会に貢献できる人材になれると思います。1年間、一人一人が一生懸命に「大人になるための努力を」重ねてくれたおかげで、少しずつできるようになってきたと思います。

201人で一緒に過ごせる日も、あと1日です。生徒には、今年度の最後まで「自主 協和 錬磨」を心がけ、「大人になるための努力を」続けてもらいたいです。

様々な試行錯誤や問いかけを繰り返しながらも、今年度の教育活動を実施することができたのは、保護者の皆様と地域の方々の御理解、御協力、御支援によります。皆様のお支えに心より感謝し、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「家庭学習強調週間」について

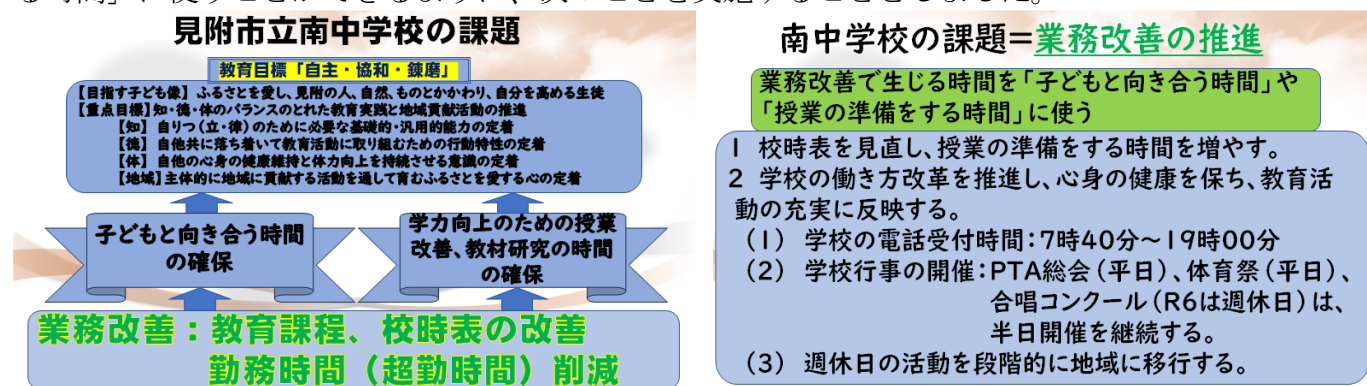
先月で、今年度の全ての「家庭学習強調週間」が終わりました。第1回～第4回までの目標達成率（「学年×10分間以上」の家庭学習）と、最高学習時間及び平均学習時間（2週間の合計時間（分））をお知らせします。多くの学年で、目標達成率や学習時間が前回は上回ることができました。御家庭での御指導に、心から感謝申し上げます。引き続き、「学年×10分間以上」の家庭学習を毎日継続するよう、御家庭での御指導をお願いします。

家庭学習強調週間の結果 ※数字は、時間は分、達成は割合（％）です。								
回	第1回		第2回		第3回		第4回	
学年	最高／平均／目標	達成	最高／平均／目標	達成	最高／平均／目標	達成	最高／平均／目標	達成
1年生	4200/924/980	84.8	4940/1249/980	75.8	5470/1625/980	78.9	4380/1702/980	79.3
2年生	4590/1494/1120	81.0	4560/1626/1120	92.1	4170/2026/1120	93.3	5090/2339/1120	98.2
3年生	3590/1202/1260	56.9	4730/1771/1260	79.2	6480/2040/1260	83.8	4140/2062/1260	86.4

令和6年度の教育活動について

「学習指導要領」では、小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めています。学校では、この「学習指導要領」や年間の標準授業時数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、教育課程（カリキュラム）を編成しています。

本校は、令和6年度から「学力向上」を最重要課題のひとつとして、教員がよりよい授業をすることができるように、業務改善に取り組んで参ります。また、教職員の多忙化解消のため、働き方改革を推進し、来年度は、業務改善で生じる時間をさらに「子どもと向き合う時間」や「授業の準備をする時間」に使うことができるように、次のことを実施することとしました。



- 1 学校行事 ※全体に関する主な変更点です。予定を変更する場合があります。詳しくは、4月以降に配付する年間行事予定や連絡の文書等を御覧ください。
 - （1）保護者の皆様から授業を御覧いただける機会を増やし、オープンスクールの日数を増やします。次の機会は、お子様の授業を御参観くださいますようお願いいたします。
 - ① PTA総会（4月）
 - ② 全校道徳（5月）
 - ③ 中越地区大会激励会（5月）
 - ④ いじめ見逃しゼロスクール集会（6，11月）
 - ⑤ 人権教育、同和教育授業（6，11月）

これからの主な学校行事

※予定は、変更されることがあります。

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
3	1	金	3年生同窓会入会式	3	14	木	2年生修学旅行（～3/16）
	4	月	第45回卒業証書授与式		15	金	公立高校合格発表
	6	水	公立高校一般選抜学力検査		18	月	2年生振替休業日
			1，2年生学習の確認テスト		19	火	生徒の集い
	7	木	公立高校一般選抜学力検査学校独自検査		22	金	第3学期終業式
	8	金	専門委員会		25	月	離任式

通学路における交通事故対策について

（1）対策	（2）具体的な行動、注意点等
① 横断歩道を使う。	横断歩道は、歩行者が安全に道路を渡るための場所です。少し離れていても横断歩道を渡りましょう。
② 横断前の安全を確認する。	「運転手から歩行者が見えていないかもしれない」ということを想像して、右と左を見て『車が来ないか』確認しましょう。
③ 車が完全に停止してから横断する。	車が止まるか通り過ぎるのを待って、もう一度右、左を確認し、近づいていなければ、手を上げてわたりましょう。
④ 車の直前、直後の横断は絶対にしない。	近づいてくる車に対しては、「止まってくれる」か「行き過ぎる」のを待ちましょう。車が通り過ぎたすぐ後は、行き過ぎた車の陰になり、反対側から来る車が見えないので、もう一度安全確認をしましょう。
⑤ 止まった車の反対側に注意する。	車が止まると安心し、「横断できる」「早く渡ってしまおう」と思い込み、反対側への注意が散漫になりがちです。急いで渡るのではなく、他に車が来ないか、左右の安全を確認してから横断しましょう。
⑥ 横断中も左右を確認する。	車を見落としていたり、予想以上にスピードが出ていたり、交差道路や駐車場から車が出てくることが考えられます。横断中でも油断せず、安全を確認し続けましょう。
⑦ バイクや自転車にも注意する。	車よりも小さいバイクや自転車も見落とさず、注意しましょう。

の理解を深めます。

- ③ 学習活動の展開の中で、地域の方々の情報や知識を見聞することにより、課題や解決の手がかりを見付けたり、専門的な立場の方から評価や助言を受けたりすることを通して、新たな価値観や視点を学び、地域やふるさとへの誇りや愛着をもつ心を育てます。

(2) ボランティア活動の推進

- ① 生徒会が中心となって、全校生徒が1年間で1回以上のボランティア活動に参加します。自分が決めた活動に、自分で申し込んで参加します。
- ② 校区内の4つのコミュニティが企画する行事や活動、見附市が募集するボランティア活動、校区内の地区が催す行事などで、中学生の力や意見を發揮して地域に貢献します。
- ③ 主に休日に参加することが予想されます。天候や時間帯により、御家庭に送迎をお願いする場合もあると思います。御協力をお願いします。

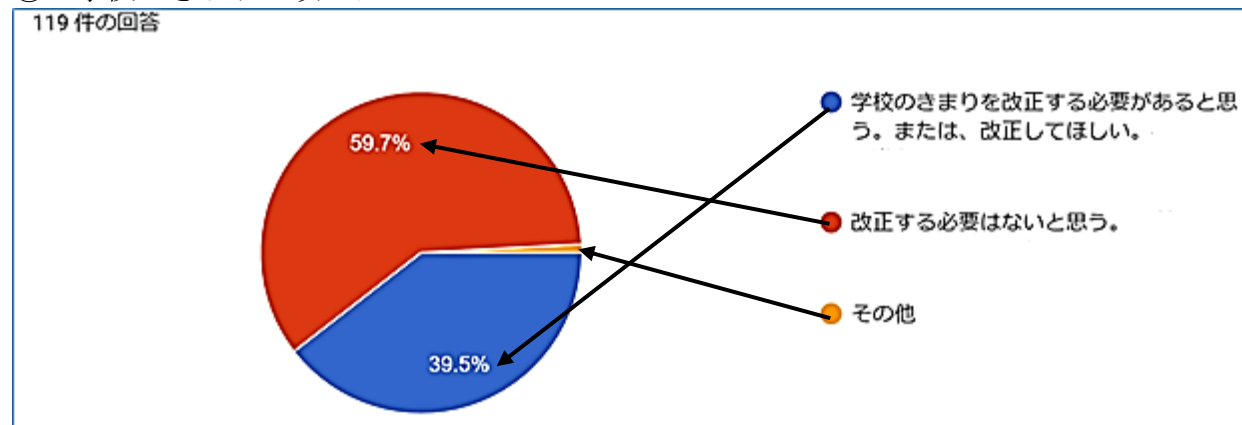
学校生活に関するアンケートについて

1月に、生徒及び保護者の皆様から、学校のきまりに関するアンケートに回答していただきました。御協力くださり、ありがとうございました。結果とともに、これからの取組の見通しをお知らせします。

1 アンケートの結果

(1) 生徒

① 学校のきまりの改正について



② ①の主な理由

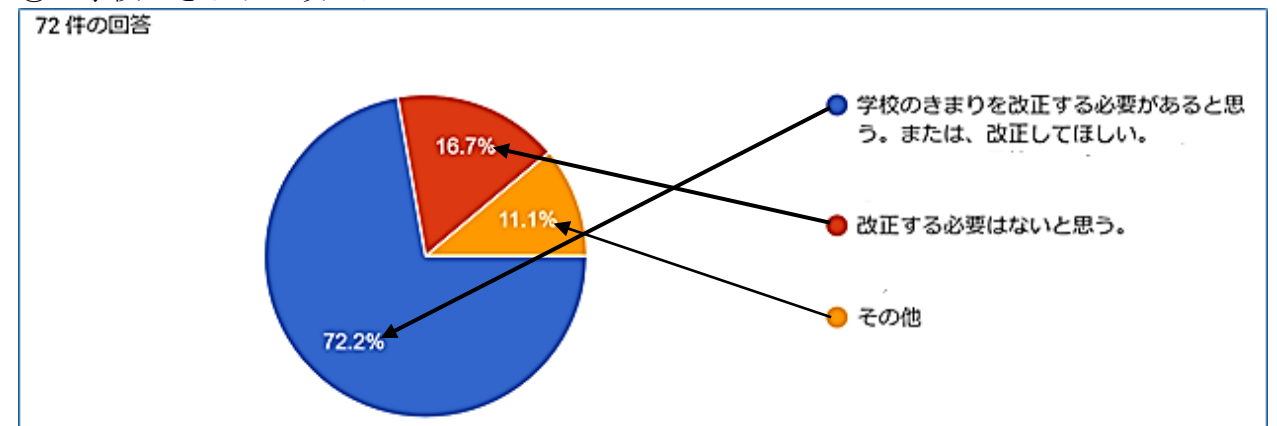
ア 改正する必要がある／してほしい	イ 改正する必要はない
今の時代にあってない校則が多い。 新しい南中を作るならルールも見直した方がいいと思うから。 何のためなのか分からない決まりがある。 靴下の色に黒なども足してほしい。 のびのびと過ごせない。 髪型は制限しなくていいと思ったから。	今のままで十分だと思うから。 今の校則に不満がないから。 そのまま続けていってもいいと思ったから。 現在の学校生活において不便なことが特にないから。 みんなきまりを守れていると思うから。 もう南中のきまりは完璧だから。

③ 変える必要があると思うきまり

きまりの項目	割合(%)	きまりの項目	割合(%)
服装：暑さ・寒さ対策、身に付けるものの色など	65.5%	部活動の靴下やシューズの色など	0.8%
髪型	36.1%	靴下	0.8%

(2) 保護者

① 学校のきまりの改正について



② ①の主な理由

ア 改正する必要がある／してほしい	イ 改正する必要はない
上着の色など何故落ち着いた色を着なくてはいけないか学校側の意見を聞きたいです。きまりに対して目的が分からない内容があり、改善してほしい案件がある。 靴下の色の件は変更できると助かる。 基本的に校則の内容が古すぎる。校則だけが時代遅れになっている典型的な学校だと思う。入学前に読んで、何十年前の校則を子供達に押し付けてるのかと思うと、不快でしかない。 多様性と言われている世の中で今の時代に合っていないと思う校則だったから。	特に困ったことがないから。 最低限の校則は必要だと思う。 今のところ、十分満足している。

③ 変える必要があると思うきまり

きまりの項目	割合(%)	きまりの項目	割合(%)
服装：暑さ・寒さ対策、身に付けるものの色など	36.1%	女子はこうあるべき！男子はこうあるべき！みたいな載せ方は絶対、やめるべき	1.4%
髪型	29.2%	指定カバン	1.4%

2 学校のきまりに関する話し合いについて

アンケートの結果と意見を受けて、令和6年2月から令和7年1月まで、校則改正委員会を組織して、学校のきまりについて、生徒会を中心に話し合います。保護者の代表として、PTA三役の皆様からも加わっていただきます。

本格的な話し合いは、令和6年度第1回生徒総会に向けた学級討議（5月）から始めます。毎月の専門委員会でも、学校のきまり（靴下、タイツ等、肌着、頭髮、暑さ・寒さ対策、明文化されていないルール等）を協議し、みんなでよりよい学校をつくりたいと考えております。御理解と御協力をお願いします。

南中生の活躍

令和6年度愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会 銅賞 3年生

第59回新春市民書初展ジュニア部門 金賞 1年生

3年生

銅賞 1年生

2年生

3年生

令和5年度見附市ライオンズクラブ 善行表彰 見附市立南中学校生徒会「誠友会」

令和5年度新潟県競書大会 特選 1年生

金賞 2年生

3年生

銀賞 1年生

2年生

3年生

銅賞 1年生

令和6年度地域表彰

※氏名は紙面に掲載しました。

【3年間無欠席】※令和6年1月31日まで 3年生

【地域へのボランティア貢献】 個人 1年生
2年生
3年生
団体 吹奏楽部
陸上競技部

【漢字テスト】全回満点 1年生
2年生
3年生

【計算力テスト】全回満点 1年生

2年生

3年生

⑥ 県大会、中越地区吹奏楽コンクール激励会（6月）

⑦ 県央地区新人大会激励会（9月）

⑧ いじめ見逃しゼロスクール集会「絆集会」（11月）

⑨ 見附子育て教育の日（11月）

（2） 個別懇談会を年2回（7月下旬、12月中旬）行います。1回目の個別懇談会は、夏休み期間中に行います。

（3） 授業時数確保のため、4月～9月まで毎月1～2回程度、水曜日を6限授業日とします。

（4） 標準学力検査（CRT）及び定期テストを2日間に分けて実施します。検査やテストを終了したら、6限（水曜日は5限の場合あり）まで授業をして下校します。

2 校時表 ※主な変更点です。変更する場合があります。

令和6年度校時表 ※6限の平常時程で清掃がある日の場合					
時刻	時間	区分	時刻	時間	区分
7:40～8:20		登校	11:45～12:35	50	4限
8:20～8:30	10	朝学習、朝読書	12:35～13:10	35	給食
8:30～8:35	5	学級朝会	13:10～13:40	30	昼休み
8:35～8:45	10	準備、移動等	13:40～14:30	50	5限
8:45～9:35	50	1限	14:30～14:40	10	休憩
9:35～9:45	10	休憩、準備	14:40～15:30	50	6限
9:45～10:35	50	2限	15:35～15:45	10	清掃
10:35～10:45	10	休憩、準備	15:50～16:00	10	学級終会
10:45～11:35	50	3限	放課後活動		
11:35～11:45	10	休憩、準備	下校完了17:30		

相談と午前中45分授業、午後は50分授業の日です。

③ 定期テスト時程：定期テストを午前中に実施します。テストの受験時間50分間、休憩と準備15分間の日です。テスト終了後は、平常時程または短縮時程です。

3 部活動 ※資料：https://www.mext.go.jp/sports/content/20200902-spt_sseisaku01-000009706_1.pdf

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要
部活動の意義と課題 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。 一方、これまで部活動は教師による厳格な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。 中教審答申や給付法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。
持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要
改革の方向性 ◆部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築 ◆部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築 ◆生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備
具体的な方策 I. 休日の部活動の段階的な地域移行 （令和5年度以降、段階的に実施） ● 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保（育成・マッチングまでの民間人材の活用仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用） ● 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援 ● 拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開 II. 合理的で効率的な部活動の推進 ● 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進 ● 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進 ● 主に地方大会の在り方の整理（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

4 アントレプレナーシップ教育及びボランティア活動の推進

（1） アントレプレナーシップ（起業家精神）教育の推進

① 「起業家精神教育」と教科・領域を横断して汎用的能力を育成します。「環境」「福祉」「健康」「地域貢献」など、現実の社会で経済活動と強く結び付き、起業している事例に学び、地域の課題として認識されたことについて、ビジネスとして利益を生み出したり、自己有用感をもったりすることができる契機であると考えることにより、内発的動機をもたせ、主体的に学習する姿勢を育てます。

② 総合的な学習の時間で、地域の特色や課題を学び、「地域の資源や人材を活かしてビジネスを立ち上げる」という視点から、経済的な尺度とともに自然や歴史、文化的な価値へ